

令和5年9月3日執行

釜石市議会議員選挙公報

釜石市
選挙管理委員会

私は**3つ**のことをやり遂げます

**毎月1回、釜石PITで
市民の皆様の声を聞く会を開催します！**

今現在の困りごとから、これから先の釜石について一緒に語り合いませんか。この時期だけの活動ではなく、普段から皆様の声に耳を傾けます。

市民の皆様の声を当局に届けます！
皆様と話し合った内容を、責任をもって当局に届けます。

議員定数削減案に賛成票を投じます！

削減分の議員報酬を学校給食費に充て、子育て世代の経済的負担を軽減します。議員1名削減すると・・・
(令和3年度の報酬で計算) 4,773,240円(1年間報酬 ※期末手当含む)
／給食費年間60,000円(小学生の場合) = 79.5人分
1年間で約80名分の給食費を無償化することができます。

井筒健太郎プロフィール

岩手県釜石市小佐野町出身 松倉在住
主な学歴：岩手県立釜石南高等学校卒業、東京経済大学経済学部経済学科卒業
主な職歴：大同信号株式会社、NPO法人@リアスNPOサポートセンター、株式会社ワビサビエンターテインメント、釜石まちづくり株式会社、一般社団法人チームスマイル 釜石PITホールマネージャー
主な実績：震災後、釜石PITを中心に、エンターテインメントを活用した心の復興事業として、著名人によるトークショー、民謡や落語や狂言、ロックコンサートなど、被災された皆様が夢を持って立ち上げられるようなイベントを企画・実施して参りました。また、毎年3月11日には根浜海岸で「3・11」の行灯を浮かべる「とうほくのこよみのよぶね」を実施しています。

釜石に新しい風を！



無所属

いづつ

健太郎
けんたろう

《新しい学び》

◇日本では年間26,000件以上の突然の心停止が一般市民の目の前で起こっています。心肺蘇生法や応急手当を学ぶ機会を増やし「いつでも」「どこでも」「だれでも」できる社会が理想と考えます。

《災害に強いまち》

◇震災時は生活品のほか「燃料」も不足となり、様々な場面で機動力がなかったと感じております。現在は「光触媒」による「水とCO2」で合成燃料が作られる設備が開発されており、公的機関への配備を推奨します。

《国際交流機会の創出》

◇外国人労働者の方とのコミュニケーションの場をつくりたいです。カタコトでも会話ができる環境があることで友好関係と地域の子供たちの国際感覚が養われると考えます。



菅原

たくみ

48歳



無所属

黒田

72歳

「新生釜石 より良い街づくりに挑戦します」
未曾有の東日本大震災から十二年、釜石市がインシアチブを取って立ち上げた釜石版地域包括ケアの一実践者として地区生活応援センター・地域会議・町内会が三位一体となり、協働を合言葉に地域福祉活動を果敢に取組んでいるところであります。
第三層の核となる地区生活応援センターの弛まない頑張りで地域福祉活動も周知が感じられるようになったが、予想以上に人口減少が進捗している中、議会は市民の声を真摯に聞き、地域福祉コミュニティ作りには孤軍奮闘して来ただろうか。
身近であるべき市議会が政策論争もないうまま無風選挙で終わった前回に不安と疑問を抱き、新生釜石の街づくりに挑戦する事にしました。

みんなの 声が届くまちへ 29歳の挑戦

- ▶有権者の意見をより多く反映させるため、議会の政策立案能力向上に取り組みます
- ▶予算執行の適正化と市民の個人情報保護のため、行政に対する監視機能の強化に取り組みます
- ▶子育てにかかる負担軽減のため、全小中学生の給食費無償化、教材費補助制度の導入を目指します
- ▶子どもの学習環境を守るため、新たな複式学級開設の回避を目指します
- ▶妊産婦の通院にかかる負担軽減のため、交通費や宿泊費などの助成金拡充を目指します
- ▶太陽光パネル設置による自然災害の被害拡大や不法投棄を防ぐため、適正な設置や処分のための制度づくりを目指します
- ▶受動喫煙やタバコのポイ捨てを防止するため、路上喫煙禁止の制度づくりを目指します
- ▶高齢者の特殊詐欺被害防止のため、迷惑電話防止装置の導入を推進します

略歴 など

■平成6年、市内大渡町にて出生 ■釜石市立第一幼稚園 卒園
■釜石市立大渡小学校⇒釜石小学校(校舎は旧大渡小) 卒業
■釜石市立釜石中学校 卒業 ■岩手県立釜石高等学校 卒業
■国立福島大学 卒業 ■工藤動物病院での勤務を経て現在



工藤 聡一郎

くどうそういちろう 無所属 29歳

釜石市議会議員選挙 投票日

9月3日(日)

投票時間は、午前7時から午後7時までです

市議会議員選挙は、私たちを代表して市政に参加する議員を選ぶ大切な選挙です。

候補者の主義・主張を十分見極めて投票しましょう。

令和5年9月3日執行

釜石市議会議員選挙公報

釜石市
選挙管理委員会

全力でまちづくりに傾注

一、住民感情に根ざした施策立案

一、若者、こどもに対する施策

一、少子高齢化人口減対策

一、水産農林事業の活性化

一、地域医療の充実

すぐやる

必ずやる

できるまでやる

即行動



古川よしあき

新たな希望の創造へ！ 公明党

- やまざき長栄の実績！
- ◇簡易認知機能検査「あたまの健康チェック」県内初導入！
10分程度で行える簡易なテストで認知機能の低下を97%の精度で判別する検査を県内初導入。釜石市の高齢化率は40.6%と高いため、認知機能低下の早期発見が予防と治療に繋がります。
 - ◇釜石山田道路（いのちの道路）の完成と拡充！
3.11で被災した生徒約560人は、高台に位置する釜石山田道路に避難し、被災を免れました。この道路は、被災した道路の迂回路として人や物資の移動に利用され、地域の孤立を回避しました。
 - ◇SOSネットワーク事業「どこシル伝言板」の推進！
衣類等に貼ったQRコードを読み取ると、認知症等による行方不明高齢者の発見から保護、帰宅までを安全にサポートできるようになります。
 - ◇台風19号被害への復旧を推進！（鶴住原・稲崎白浜・尾崎白浜・片岸地区）
尾崎白浜では、台風被害で家に居住できなくなった方から住居を用意してほしいとの要請を受け、すくさま行政と連携。翌日には仮設住宅を提供しました。



公明党公認
やまざき長栄

- 私の主張
- ▷健全な財政運営の堅持
・身の丈に合った財政運営 ・適正な公共施設の配置と維持管理
 - ▷災害に強いまちづくりの推進
・地域防災力の強化（消防団・自主防災組織） ・防災士の育成と活用
 - ▷支え合い生きがいを感じるまちづくり
・保健衛生施策の推進と医療・介護人材の確保 ・地域包括ケアシステムの確立
 - ▷教育環境の整備促進と学校教育の充実
・不登校対策の推進 ・生涯学習の推進と文化芸術の振興
 - ▷地域経済の振興と生活基盤の確立
・空き地・空き家画の有効利用 ・水産農林など地域資源を活用した地場産業の育成

《プロフィール》
○昭和21年11月釜石市片岸町に生まれる。県立釜石商業高校卒業。
○平成3年釜石市議員に初当選。現在8期目。
○釜石市監査委員。釜石市消防団元団長。防災士。
○党県副代表。76歳

ONE KAMAISHI
3万人でひとつのまちに

【村田信之（むらたのぶゆき）プロフィール】
高校のときにはラグビーで汗をかき、大学生では記事を書いていました。人材育成に20年、政策スタッフとして18年、人と情報のネットワークをしっかりと築いてきました。早稲田大学客員准教授、立教大学兼任講師、京都芸術大学客員教授、内閣官房専門調査官、ジャーナリスト田原総一郎スタッフなどを歴任。参議院議員の連動さんとの離婚を機に、2020年8月に釜石に移住。釜石と東京との2拠点生活をしながら、釜石ラグビー応援団、NEXT KAMAISHIに参加。釜石の子育て、街づくりにかかわってきました。

- 教育のONE KAMAISHI

 - ・ラグビーを活かした成長、英語教育
 - ・すべての子どもたちに居場所と遊び場と安心を
- 所得のONE KAMAISHI

 - ・釜石市民の平均所得277万円を300万円に
 - ・20代30代の暮らしを豊かに
- くらしと子育てのONE KAMAISHI

 - ・3つの「無料化」
18歳までの医療費
小中学校の給食
子どものオムツ
 - ・環境問題、ごみ問題に真剣に取り組む
- 健康と福祉のONE KAMAISHI

 - ・健康サポーター、介護人材の充実
 - ・助け合って安心して暮らせる防災まちづくり
- 産業のONE KAMAISHI

 - ・若者がいきいきと働ける文化をつくる
 - ・実は世界有数の地球に優しい観光都市
- 未来・希望のONE KAMAISHI

「一人ひとりが学びあい世界とつながり未来を創るまちかまいし」
私たちは「未来への責任」があります。3万人の市民がひとつとなり、希望ある未来をつくっていきましょう。
行政への「お任せ民主主義」ではない釜石。釜石市民がつくった「第6次釜石市総合計画」を確実に実現させます。
- ホームページ <https://muranobuyuki.jp/>



無所属
むらたのぶゆき

次の世代に夢をつなぐまちづくりを目指すため
6期24年の実績で力強く行動する
おら ガンバル！
佐々木よしあき



佐々木よしあき

まちづくりは、市民と議会がつくり上げるものであり行政がつくるものではありません。ですから、みなさん声をあげましょう!!（個人でも市政報告会を開催します）

みんなの声を市政に反映いたします。

- 高齢者福祉の充実。
- 安心して暮らせる地域を目指します。
- 議員定数削減。
- 予算の無駄をなくし有効活用します。
- 子育て支援策を拡充します。
- 魅力ある「かまいし」を目指します。
- 雇用・活力のある産業振興。
- 買い物困窮地域の対策に取り組みます。

プロフィール
1973年 5月 3日生（50歳） 釜石市平田在住
学歴 平田小→大平中→釜商→中央理容専門学校
役職 310代表（理容）
岩手県理容生活衛生同業組合 釜石支部役員
岩手県理容生活衛生同業組合 監事
岩手県委嘱 生活衛生営業特別相談員



佐藤憲弘

釜石の未来を創る六ヶ条

- 一、子育て環境の充実
- 二、地域産業の振興
- 三、災害に強いまちづくり
- 四、地域公共交通の強化
- 五、地域医療の確保
- 六、移住・定住の推進

市民ファースト！
子育て世代代表！



磯崎翔太

令和5年9月3日執行

釜石市議会議員選挙公報

釜石市
選挙管理委員会

持ち前の行動力でめざす
三方よしの街づくり「市民良し・事業者良し・行政良し」
地場企業・地域個人事業主の発展こそがこれからの釜石市の輝く光になる



きくちひろたか

釜石に
ワクワクを！

市民良し

働き方・賃金良し

子育て世代や就職希望者の社会進出と定年退職後のチャレンジを応援する仕組みづくり。
賃金引き上げの実施、沿岸トップクラスの平均賃金をめざす。

事業者良し

経営・企業の仕組み良し

釜石市の地場企業・事業主の生業の発展と若い経営者の経営力育成のため、先進事例や成功失敗事例の研究発表会等の開催。
賃金引き上げの実施に耐えられる企業の「稼ぐ力」の習得のサポートをする仕組みづくり。

行政良し

街づくり・つながり良し

三陸縦貫道・横断道の結末点として「地の利」を活かした街づくりの推進「釜石湾から世界へ」をスローガンに掲げた貿易に關する勉強会の開催。
自身の経験とコミュニケーションスキルを活かし、市民と行政がつながる橋渡しとなる。



無所属
たかはし しょういち
松一

私は、東日本大震災後は、当市の特徴を活かし、コンパクトなまちをめざして、住みよくなるまち、住んで良かった、といわれるまちづくりを目指している。市も第六次総合計画を作製し、まちづくりに取り組んでいる。しかし、今、新庁舎建設のための入れ、落れ辞退という大問題が発生。さらに、当市誘致の専門学校の開校時期が大幅に遅れることが判明、無償貸与の教育センター改修費、三億数千円もの無駄も。さらに、基幹産業的水産業の地方卸売市場の運営も金のたまり場だが、大きな行政課題となるなど、市民の頭上をおおっているこれらの難題解決が、当面の大きな任務であると感じている。あわせて、市民の皆様にも現状を認識され、共に解決に努

安心して暮らせる『希望のまち釜石』を実現！

1. 人にやさしいまちづくり

自然災害に強い安全なまち／少子高齢化社会への対応をはじめ若者が生き生きと暮らせるまち／医療・介護・福祉施策等に注力し子どもから高齢者、障がいを持つ方々に優しいまち／教育環境の充実と生涯学習の拡充、文化活動やスポーツ振興等、心豊かに暮らせるまち／東日本大震災を風化させない取り組みと防災・減災に力を入れ、安心して暮らせるまち

2. 活気があるまちづくり

地場産業の育成強化、県内産業との連携による雇用の場の創出／働く者を真ん中に据えた施策の展開／持続可能な農林水産業や観光産業の振興・発展／物流拠点都市を目指し港湾や高速自動車道路等の活用と整備促進

3. 市民が主役のまちづくり

市民が参加しやすい開かれた行政／市民目線を大切に行政改革／市民の声を議会に届けて市民の課題を改善

昭和42年 1月18日 松原町生まれ。現在小川町在住
白山小学校・大平中学校・釜石工業高等学校を卒業
昭和60年 4月 新日本製鐵釜石製鐵所入社／新日鉄釜石ラグビー部入部
平成22年 9月～9年間 日本製鐵釜石労働組合 組合長
基幹労働者手帳本部 委員長
平成22年10月～7年間 連合釜石釜石・遠野地域協議会 事務局長
令和元年 9月～ 釜石市議会議員

市民・労働者目線で、これまでの経験とネットワークの軽さを活かして『希望のまち釜石』の実現を目指しひたむきに頑張ります。



三浦 かずやす

みうら

(無所属 五六歳)

子供たちの笑顔がはじけるまちづくり！

子供たちの笑顔は、釜石の幸せ度の現れです。

子供たちの笑顔と笑い声は、まちづくりの礎(いしづえ)です。子供のころの幸せな思い出は一生の宝物になります。だから、私は「子供たちの笑顔がはじけるまちづくり」を目指します。

■ 第一に地域経済の発展です！

子供たちの明るい笑顔をもたらすのは親の笑顔。それを支えるのは地域経済です。経済の成長が、給与の上昇、税の増収、福祉の充実を促進し、人口を維持します。釜石が拠(よ)って立つ経済基盤を確立し、地場産業の生産性向上を積極的に後押しすべきです。

■ 命を守ることに優先的に予算配分を！

県立釜石病院の周産期医療、循環器系・脳神経系医療等の早期充実を求めます。県費による大船渡病院までの足の確保、県費による救急隊組織の増員・充実を求めます。

■ 両石ICの「フル規格化」、公共埠頭の整備拡充を！

釜石両石インターチェンジを上下線に行き来できる「フル規格化」、公共埠頭は整備拡充を！ どちらも、釜石港のコンテナ輸送の拡充と企業誘致促進のための重要課題です。

投票しましょう。あなたの一票を私に託して下さい！



野田ただゆき

暮らし応援

◎消費税の減税、インボイスは中止
◎子どもを安心して産み育てられる釜石へ
◎県立釜石病院での分娩再開を
◎高騰する漁船の燃油、農家の飼料・肥料等への支援

「いのちを何よりも大切に」を信条に市政へ

●1956年、宮古市田老(旧田老町)生まれ●地元医院で働きながら、准看護師と県立社陵高校を卒業●その後、国立盛岡看護学校を卒業し、1979年から国立療養所釜石病院に40年間つとめる●2019年「いのちを何よりも大切に」を信条に市政へ●中妻町在住

大混乱のマイナンバーカード、現行の保険証の存続求めます！

子育て支援・3つのゼロ

◎小中学生の給食費ゼロ
年間・小学生50,000円、中学生56,000円の負担軽減へ
◎第一子からの保育料ゼロ
◎国保・子ども均等割ゼロ
年間・28,600円の負担軽減へ

老後に安心

◎年金で入れる特養ホームの増床を
◎軍拡でなく、負担軽減を介護保険料・利用料の軽減を
◎物価高騰にみあう国へ年金の引き上げを求め

子育て、暮らし、老後に希望を



ふかさわ秋子

日本共産党公認

未来に責任

誰もが住んで良かったと心から実感できる釜石を目指して

- あらゆる人の幸せが実感できる安全・安心な地域社会を実現する。
 - 健康づくりを地域一体での取り組みを強化し、健康寿命を延ばす生活習慣病予防の普及促進。
 - 子育て世代の支援を強化し、安心して子育てでき、豊かな子育て地域をつくる。
 - 高齢者・障害者の孤立防止を推進、支え合う地域共生社会を実現する。
 - 生きがいをもたせる生涯学習・スポーツ振興を促進する。
- 被災者支援並びに自然災害対策の強化。
 - 心のケア細やかなケア充実強化する。
 - 被災地の経済再生が道半ばにて、生業、にぎわいを復活する。
 - 過去に学び自然災害対策を強化する。
 - 大切な住民の命と暮らし、愛する郷土を守るための自主防災体制を構築する。
 - 自然大災害発生を想定した防災意識の醸成を図る。
- 地域経済活性化と就労機会拡大、人口流出防止に積極的に取り組む。
 - 企業誘致による雇用の創出と人口減少対策を推進する。
 - 起業・創業支援と地場産業(農林漁業)の担い手確保と後継者を育成する。
 - 釜石港の拡張、利用拡大と機能を強化する。
 - 世界遺産、伝統文化を活用した観光振興と交流人口を拡大する。
- 釜石市が目指すまち、賑わいある街を目指す。
 - 行政のスリム化・財政の健全化を実現する。
 - 交通事故や犯罪や事故のない地域づくりを推進する。
 - 公共物や空家等の適正管理と有効活用を図る。
 - 森林保全と自然と共生し、鳥獣被害防止対策に取り組む。
 - 近代化産業遺産等、鉄の文化とモノづくり魂の歴史を伝承する。

花と光を通して共に人生を豊かに
あなたの1票を「菊池ひであき」に！



菊池ひであき



令和5年9月3日執行 釜石市議会議員選挙公報

釜石市
選挙管理委員会

【私の政策】

自然災害に強いまちづくりを進めます！

三世代がともに暮らせる釜石を目指します！

自然環境を活かした経済の活性化を進めます！

郷土芸能を伝えられるまちづくりを進めます！

実行力



佐々木さとし

55歳

人生の道

人にはそれぞれ生まれながらにしての道があります。

私の道には、いつも先々で、笑顔で星君元気か？ ホッシー変わりないか？ と声をかけてくれる方々がいます。

その方々に私はいつも救われ、助けられ、ここまで来る事ができました。

今度は私が、その方々がしてくださった様に皆様方のお役に立ちたいです。

これが星の本気です。



無所属
星さとし
(41歳)

【私の思い】

私は生まれてからずっと「ふるさと釜石」と共に歩んできました。

海があり、山があり、蛍の舞う川が流れ、他県の友人たちはみな口をそろえて、素晴らしい環境だと褒めてくれます。

私は市民が自分の住む自らのまちを誇りに思い、学校を卒業したら地元で働きたいと思える釜石市にしたい、それが私の思いです。

それぞれの釜石、それぞれの未来。そして、ひとつの釜石へ。

暮らし — 子育て支援、医療福祉の充実 —

・国の子育て支援に、釜石市がプラスαによる経済支援をします。

・結婚・出産・子育てを両立する男女共同参画を推進します。

・県立釜石病院と地域医療の連携を進め、医療体制を盤石にします。

・高齢者が生きがいを持ち生活する為のコミュニティセンターを充実します

発展 — 夢と希望が叶う釜石 —

・地域の学校で学んだ事を活かせる事業継承支援、U・イターンを促進します。

・気候変動対策の脱炭素を目指すGXに適応する再生エネルギーの事業化を目指す。

・魚と鉄の町にふさわしい関連産業の誘致や国際貨物ハブ事業の展開準備をします

産業 — 水産加工業、魚類養殖の未来 —

・釜石の水産業の未来の為、管内漁協合併推進室を設置します。

・釜石魚市場の根本的な経営戦略を官民一体となり結果を出します。

・ウニの蓄養、サクラマスの海面養殖などに対する支援体制を強化します。

・釜石漁港の漁獲高向上に冷凍倉庫と加工場の誘致を推進します。



えんどう幸徳

千葉さかえの決意・そして目指すこと！

《安心・安全・住みよいまちづくりに全力投球》 ★千葉さかえの3つの政策

- ① 災害に強い街(防災体制を強化させ被害を軽減することが可能です！)
- ② 雇用を生み出す街(地元の事業所に愛着を持って頂ける繋がりづくり)
- ③ 安心して暮らせる街(支え合い・助け合いながら生活を送れる地域！)

★私の釜石への思い

今後も初心である「現場主義」の精神を大切に、幅広く多くの皆さんと接点を持ち、考えを聞きながら市政に反映できるように頑張っていきます。

【プロフィール】

- ・昭和27年：釜石市生まれ
- ・昭和46年：私立花巻商業高等学校（現私立花巻東高等学校）卒業
- ・昭和47年：釜石市消防本部勤務
- ・平成23年：釜石大槌地区消防本部消防長就任
- ・平成25年：釜石大槌地区消防本部退職



千葉さかえ

投票の際には
選ぶ人の氏名をはっきりと！

投票用紙には、あなたが選ぶ候補者の氏名(名字と名前)をはっきりと書いてください。

投票用紙に氏名以外の雑事を書いたり、誰を書いたか分からないものや、次のような投票は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

- ・投票用紙以外のものに書いて投票したもの
- ・候補者でない人の氏名を書いたもの
- ・二人以上の氏名を書いたもの
- ・候補者の氏名以外に他のことを書いたもの
- ・記号等を書いたもの

希望ある釜石へ。心つなぐ！

細田こうこの実績！

- ◇ 視力検査に「フォトスクリーナー」を導入！
弱視の主な原因である遠視・乱視を測定する機器「フォトスクリーナー」。2歳半の健科検診とあわせて視力検査を行うことで、目の異常を早期発見、治療につなげることができるようになりました。
- ◇ デジタル障がい者手帳 ミライロIDの推進！
障がい者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリ「ミライロID」。障がい者手帳の情報や求めるサポート内容などを登録し、公共施設等で提示することで割引等が受けられます。
- ◇ SOS ネットワーク事業「どこシル伝言板」の推進！
衣類等に貼ったQRコードを読み取ることで、認知症等による行方不明高齢者の発見から保護、帰宅までを安全にサポートできるようになります。
- ◇ 妊産婦支援事業の推進！
一般妊産婦には、交通費と宿泊費あわせて上限額5万円を支給。ハイリスク妊産婦には、上限額10万円を支給。また、市内への産婦人科は、上限額5万円が支給されます。

私の主張

- ▷ 健全な財政運営の堅持
・身の丈に合った財政運営 ・適正な公共施設の配置と維持管理
- ▷ 災害に強いまちづくりの推進
・地域防災力の強化(消防団・自主防災組織) ・防災士の育成と活用
- ▷ 支え合い生きがいを感じるまちづくり
・保健衛生施策の推進と医療 ・介護人材の確保 ・地域包括ケアシステムの確立
- ▷ 教育環境の整備促進と学校教育の充実
・不登校対策の推進 ・生涯学習の推進と文化芸術の振興
- ▷ 地域経済の振興と生活基盤の確立
・空き地・空き家画の有効利用 ・水産農林など地域資源を活用した地場産業の育成

【プロフィール】

- 昭和38年釜石市小川町生まれ 60歳
- 県立釜石商業高校卒業後、新日鐵釜石製鐵所に入社。
平成15年釜石市議会に初当選。現在5期目。
- 党岩手第三総支部長、党釜石支部支部長、党県女性局長
- 防災士



ほそだ
細田こうこ
公明党公認